

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 25 日

事業所名 あったサポート

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	3	0	職員配置基準以上 に配置している。	今後、研修を行い質の向上を高めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	7	0	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	7	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6	1	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	0	1	6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	7	0	0		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	専門職による評価 実施	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	7	0	0	WISC-4、K-ABC II など発達検査使用	検査のみに囚われない評価の仕方 検査の有効性について研修あり
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	7	0	0	年間プログラムを 全員で立てている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	7	0	0	祝日の理由を考慮 した活動立案等	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	0	0		一週間分を月曜に用意し課題の量やステップを調整
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	7	0	0	子どもの発達状況 に応じて個別療育実 施	集団活動や新奇的な活動を多く取り入れ 「体験すること」を多く提供
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	7	0	0	朝礼の時間を設け 確認	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	7	0	0	終了時で難しけれ ば翌朝実施	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		その日のうちに記入
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	7	0	0	モニタリングを開 かない相談員を 変更してもらい実 施		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	7	0	0	発達状況に合わせ た個別療育実施	集団活動や新奇的な活動を多く取り入れ 「体験すること」を多く提供	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6	1	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0	7		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	1	0	6		まだ卒業生はいないが、今後情報交換とし て行っていく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	0	6		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	0		ハロウィンやトランポリン日などで児童館を 利用 地域の子供とドッチボールなどで交流
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	1	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	7	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	5	1	1	一人一人の特性 に合わせて、取り 組んでいる。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	7	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1	3	3		コロナ中の為、控えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	0	0	SNSを駆使し 日常から発信し ている	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	7	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	消防署と連携し実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	第三者委員会で検証 や社内研修等年3回 以上	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	どのような場合でも拘束しない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	0		現在アレルギーの子はいないが、発症した場合 速やかに保護者へ連絡し、救急対応予定
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	0		今後、作成していく。